

【別紙】令和2年度 学校自己評価重点目標シート (川口市立東中学校)

(A4判横)

※学校関係者評価実施日とは、学校関係者評価委員会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

学校教育目標	○よく考える生徒○心豊かな生徒○心身ともに逞しい生徒○勤労・奉仕の心をもつ生徒
目指す学校像	(1) 夢と希望を育む地域に信頼される学校 (2) 明るい挨拶と正しい言葉遣いの行き交う学校 (3) 清掃の行き届いたきれいな学校 (4) いじめのない、不登校生徒のいない学校 (5) 学校行事や部活動による活動を大切にする学校

達成度	A	ほぼ達成 (8割以上)
	B	概ね達成 (6割以上)
	C	変化の兆し (4割以上)
	D	不十分 (4割未満)

出席者	
学校関係者 (教職員を除く)	名
事務局 (教職員)	名

学 校 自 己 評 価					
領 域	年 度 目 標			年 度 評 価 (平成 年 月 日 現在)	
	現状と課題	重点目標	具体的方策	重点目標の達成状況	達成度 次年度への課題と改善策
組織運営	・落ち着いた環境の中で、授業をはじめとする様々な教育活動が展開されている。また、若手教員の活気とベテラン教員の経験がうまく融合した組織となっている。現状に満足することなく、常に一段上を見据えた教育環境を構築していかなければならない。	○落ち着きと潤いのある学校として市内に誇れる学校を作る。  □教職員が高い理想を求めて、活気ある教育活動が実現できる組織をつくる。	・小さな変化を見逃さず、早期対応で教育活動を行う。  ・働き方改革を具体的に進める。教職員の負担感を減らし、地域、保護者への理解を求める。		
教育課程	・ICTを活用した授業が増加し、見直しと振り返りを大切にした授業が実践されている。また、支援を要する生徒への指導により不登校生徒も減少傾向にある。新学習指導要領を見据えて、基礎基本の確実な定着を図ることが本校の中心的な課題である。	○臨時休業に伴う学習の遅れを取り戻し、基礎基本を確実に定着させる。  □家庭との連携を大切に、心の悩みにも十分に対応できる体制を構築する。	・学校行事は必要最小限におさえ、授業時数の確保に努める。  ・教育相談員、スクールカウンセラーとの連携を深め、生徒・保護者に寄り添った指導を行う。		
開かれた学校づくり	・ホームページに加え保護者緊急メールの活用にも積極的に力を入れている。また、小中学校の連携強化を図り、地区全体として子どもを育てる意識を強めている。今後も、地区全体で子どもを育てる意識で、教育活動を行っていかなければならない。	○非常時でも十分に対応できる連絡方法を充実させ、迅速な情報提供を行う。  □新郷地区の中学校として、リーダーシップの発揮できる学校にする。	・校務分掌にホームページ担当を置き、本校システムの機能を最大限に引き出す。  ・小中連携を一層深め、学区内小学校と同一歩調で教育活動が進められるように		
教職員の資質向上	・教科ごとに学習指導案の検討を行い研究授業に結びつけることによって、指導法の共有を行っている。また、学校評価においても、比較的高い評価をいただくことができている。教育公務員としての資質向上は、恒常的な心構えと捉えている。	○教育のプロとして専門性を高め、特に教科指導力を向上させる。  □保護者や地域から信頼される教職員集団を形成する。	・教科部会を中心に基礎研究を深め、加えて教科を越えて授業を見せ合う活動も行う。  ・服務管理を徹底し、校内研修を通して教育公務員としての意識を高める。		
施設・設備等の管理	・定期安全点検を通して指摘された箇所の改善を早期に進めている。また、長期にわたる老朽化に伴う補修箇所は、教育委員会と連携を図りながら実施している。生徒が安全で安心な教育活動が実践できる環境を整備していくことが重要である。	○生徒が安全・安心に活動できる教育環境を整える。  □災害時における避難所としての機能が十分に発揮できる施設にする。	・月に一度、定期安全点検を実施し、危険箇所、破損箇所の早期改善を行う。  ・台風19号における避難所開設の経験を生かし、教育委員会と連携を図りながら必要箇所の改修を行う。		

学 校 関 係 者 評 価	
※実施日	平成 年 月 日
学校関係者からの意見・要望・評価等	